

様式1) プラットフォームの連携体制・中長期計画又は基本方針の概要図(1ページ以内)

○現状・課題、ビジョン・目標(一部の数値目標含む)、連携体制図(協議体制含む)、取組の抜粋等により、プラットフォームの全体像。

福島市産官学連携プラットフォーム中長期計画

課題と背景

解決しようとしている課題

- 1 福島市内高等教育機関における若者流出による学生数の減少
- 2 福島市内高等教育機関同士が連携(FD・SD、IR等)した事業の拡大の必要がある。
- 3 福島市における地方創生の中心的役割を担う人材像の明確化(産業界が求める人材像と大学等が育成する人材像とのマッチング)。
- 4 福島市内の中小企業における大卒者採用という雇用ニーズの創出。
- 5 人生100年時代の高齢者の学び直しのニーズへの対応と活躍の場が確保できていない。
- 6 保育士不足解消の要因である保育士の早期離職に対するキャリア教育と支援の在り方。

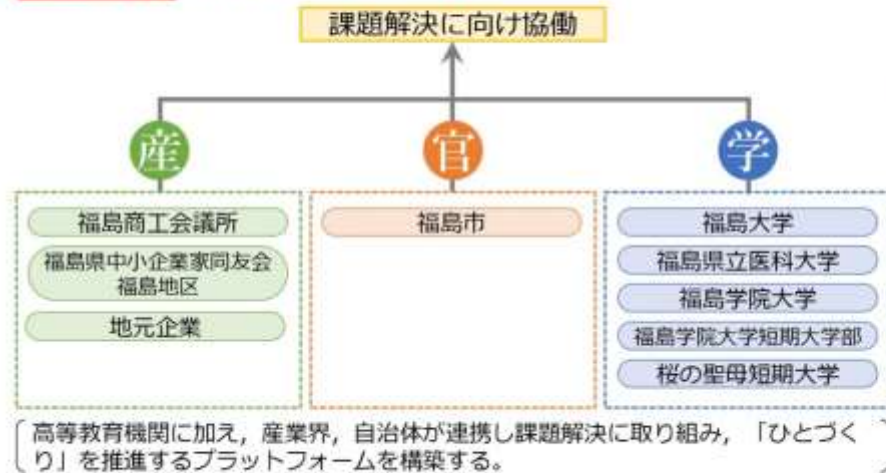
最重要目標

課題解決で得られる成果の数値目標

- 1 福島市内の高等教育機関の入学者数の増
目標値 毎年度 前年度比、1%増を目指す
- 2 福島市内高等教育機関による共同IRと合同FD・SD研修会の開催
目標値 保育士の卒業共同アンケート実施、毎年度合同FD・SD研修会を年1回開催する
- 3 産官学との共同研究の成果を活かした共同授業の企画と開設
目標値 福島で必要とされる人材像を明確にした共同授業を1講座開発する
- 4 若者定着と経営者の雇用マインド変革とキャリアアップに関する共同研究と講座開設
目標値 雇用マインド変革に関する共同研究と講座開発と毎年、受講者50人を目指す
- 5 高齢者がいきいきと活躍するための講座を企画・開催し場の創造
目標値 毎年1講座を開講し、毎年、受講者数20人以上を目指す
- 6 保育士の離職率の高さと保育士支援プログラムに関する共同研究
目標値 共同研究の成果、ふくしま版保育士支援プログラムによる待機児童ゼロを目指す

連携体制

課題解決のための組織体制のイメージ



展開する取組

課題解決のための具体的な取組

- 1 福島市内高等教育機関による合同大学研究セミナーの開催
- 2 福島市内高等教育機関による共同IRの実施と合同FD・SD研修会の開催
- 3 産官学の共同研究による地方創生の中心的役割を担う「人材」育成に関する取組
- 4 中小企業における大卒者採用に対する雇用マインドの変革に関する共同研究と講座の開発、中小企業で働く若者を対象としたキャリアアップ講座の共同開発
- 5 人生100年時代に対応した「サードプレイスづくりプログラム」による地域活性化に関する研究とコーディネーター等育成講座の開発
- 6 保育士のキャリア形成とふくしま版保育士支援プログラムの産官学共同研究に関する取組

様式2) 数値目標・活動指標等シート						
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	プロジェクト	
①福島市内高等教育機関における若者流出による学生数の減少	①福島市内の高等教育機関の入学人数の増を目指す(前年度比1%増)。	(取組1) ・福島市内高等教育機関による合同大学研究セミナーの開催に向けて取組む。 市内大学・短期大学に在籍する学生の出身地の分布を調査し、基礎データとして学生募集戦略を考える。	(取組1の活動指標) ・合同大学研究セミナーを年1回以上開催する。本年度は関係機関との調整と企画立案を行う。 ・市内大学・短期大学に在籍する学生の出身地調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・合同大学研究セミナーの企画案策定(参加者の市内大学への進学意識の変化を調査)と福島市との連携にて会場を確保した。(資料3-③) ・市内(県北地区)高校からの市内各大学等への入学人数の調査を次年度から開始する。 	高等教育機関連携PT	
		(取組2) ・全国平均に比べ低い進学率アップのため市内小・中学校との連携による大学見学会等の開催に向けて取組む。	(取組2の活動指標) ・市内小・中学生対象の大学見学会を年1回以上開催する。本年度は関係機関との調整と企画立案を行う。			<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生を対象に大学見学会等の検討を依頼した。 ・各大学の実施状況を把握した。 ・福島県立医科大学 =中学校単位で受入、目的を明確にした中学生対象の大学見学会を実施している。 ・福島大学 =小学生・中学生対象の大学見学会等を実施している。 ・市内の私立大学では取組がない。次年度実施に向けた取組を進める。
		(取組3) ・共同授業における市内高等教育機関における単位互換に向け取組む。	(取組3の活動指標) ・市内高等教育機関における単位互換の授業科目を開設する。			<ul style="list-style-type: none"> ・単位互換に関してはACF単位互換協定を基本とし、事務レベルでの検討・調整を開始した。 ・共同授業の開設については、人材育成及び地域活性化PTの成果を基に開設に取組む。
②福島市内高等教育機関による共同IRの実施と合同FD・SDの開催	②共同IRとしてのアンケート企画・実施と合同FD・SDの年1回以上開催する。	(取組1) ・保育士のキャリア教育のための市内の保育士養成機関と自治体、保育関係者による卒業生アンケートの実施と分析に向けて取組む。	(取組1の活動指標) ・市内保育士養成機関によるアンケートの企画会議の開催と、そこでの意見を反映したアンケート作成と実施方法の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・11/28のプロジェクトチーム全体会議において、保育士キャリア形成PTと連携し、次年度にアンケートの実施を確認した。 ・次年度の合同SD研修会を今年度の研修会を基に企画した。(内容:IRer養成講座、講師愛媛大学より小林直人先生)9/26予定で調整中。 		
		(取組2) ・福島市内の高等教育機関による合同のFD・SDの開催にむけ取組む。	(取組2の活動指標) ・合同FD・SD開催に向け関係機関との調整と企画立案を行い。合同SDを1回開催する。			

福島市産官学連携プラットフォーム 実績報告書

<p>③福島市における中心的役割を担う人材像の明確化</p>	<p>③地方創生の中心的役割を担う人材像の明確化を図るため産官学による共同研究とその成果を活かした共同授業のシラバスを作成し、次年度開講を目指す。</p>	<p>(取組1) ・産官学による共同研究により、福島市における中心的役割を担う人材像の明確化に向けた共同研究を行う。</p>	<p>(取組1の活動指標) ・共同研究に向けた体制づくりと、研究会を3回以上開催する。次年度以降は、打合せ回数延べ10回以上を目指す。</p>	<p>・11/28のプロジェクトチーム全体会議において、チームの編成とプロジェクトチームの課題を明確にできた。 ・課題：大学・新卒者と、雇用側のマインドを明確にするための取り組みを策定した。</p>	<p>人財育成及び地域活性化PT</p>
		<p>(取組2) ・共同研究による明確にされた福島市における中心的役割を担う人材像の育成に必要な共同授業の企画・開設に向けて取組む。</p>	<p>(取組2の活動指標) ・共同研究で明確にされた人材像を基に、産官学の協議を得、ルーブリックを作成し、求められる人材育成のための共同授業を構築しシラバスを作成する。</p>	<p>・11/28のプロジェクトチーム全体会議において、以下の課題を明確にできた。 ・課題：福島市の中心的役割を担う人材像の明確化するための具体的な取組を策定した。</p>	
<p>④福島市内の中小企業における大卒者採用という雇用ニーズの創出</p>	<p>④若者定着と経営者の雇用マインド変革とキャリアアップに関する共同研究と講座開設を目指す。</p>	<p>(取組1) ・中小企業における大卒者採用に対する雇用マインド変革に関する共同研究と経営者を対象とした講座の開発に取組む。</p>	<p>(取組1の活動指標) ・産官学連携による、中小企業経営者の雇用マインド変革に関する共同研究の体制整備と研究会を3回以上開催する。</p>	<p>・11/28のプロジェクトチーム全体会議において、以下の課題を明確にできた。 ・課題：雇用マインドの変革に必要なデータ収集を次年度の取組とした。雇用者側、大卒者・高卒者のマインドの調査項目(案)を設定した。</p>	
		<p>(取組2) ・共同研究の成果を活かした、中小企業経営者対象の「雇用マインド変革講座(仮称)」の企画を立案し、次年度開催に向けて取組む。</p>	<p>(取組2の活動指標) ・産官学連携による共同研究の成果を基に、中小企業経営者対象の講座を企画立案し、次年度に開講する。</p>	<p>・11/28のプロジェクトチーム全体会議において、取組1の実績を基に、講座の開発を行う計画案を策定した。</p>	
		<p>(取組3) ・産官学連携による働く労働者を対象としたキャリアアッププログラムの共同研究と講座開発に取組む。</p>	<p>(取組3の活動指標) ・産官学連携による共同研究及び調査方法の企画を立案、次年度以降に講座を開講する。受講者は20人以上。</p>	<p>・11/28のプロジェクトチーム全体会議において、現在、働く労働者を対象としたキャリアアッププログラムに必要とされる労働者のニーズの把握し、未来志向のコンテンツ開発を目指すことを確認した。</p>	
		<p>(取組4) ・産官学連携による市内企業等の合同説明会・就職セミナー開催に取組む。</p>	<p>(取組4の活動指標) ・市内企業等の合同説明会・就職セミナー開催を企画し年1回以上実施する。参加企業50社、学生200人参加</p>	<p>・次年度、福島学院大学駅前キャンパスで実施する合同企業説明会開催の企画を策定した。 (資料3-④)</p>	

福島市産官学連携プラットフォーム 実績報告書

⑤人生100年時代の高齢者の学び直しのニーズへの対応と活躍の場の確保	⑤高齢者がいきいきと活躍するための講座を企画・開催し、活躍の場を創出する。	(取組1) ・産官学連携による地域密着型「サードプレイスづくりプログラム」の講座開発に取組む。	(取組1の活動指標) ・「FUKUSHIMAing」な高齢者を育成する講座の企画・開発のための会議を開催し、次年度以降に講座を開講する。受講者は20人以上。	・9/27 プロジェクト会議において、2018 アクションプランを策定、3/10「生涯学習の集い」を開催し、社会人の学びのニーズ把握を行った。 (資料3-⑤)	人生100年 学び直し時代 P
		(取組2) ・産官学連携による地域密着型の高齢者が交流する場として、「サードプレイス」としての「OMOSHIRO工房(仮称)」の設置に取組む。	(取組2の活動指標) ・産官学連携による高齢者が活躍する場「OMOSHIRO工房(仮称)」の設置に向けた調査と企画案を策定する。年間利用者50人以上	・9/27 プロジェクト会議において、2018 アクションプランを策定した。 (資料3-⑥)	
⑥保育士不足解消の要因である保育士の早期離職に対するキャリア教育と現役保育士への支援体制の在り方	⑥保育士の離職率の高さと保育士支援プログラムに関する産官学連携による共同研究の成果を活かし、保育士の安定確保による待機児童ゼロを目指す。	(取組1) ・福島市・市内保育園と市内保育士養成校との連携による保育士キャリア教育の共同研究に取組む。	(取組1の活動指標) ・産官学連携による保育士キャリア教育の共同研究の体制整備と研究会を開催する。研究成果を基に、市内保育士養成校で保育士キャリア教育を実践し、市内保育園への就職率アップと離職率の低減を目指す。	・9/27 プロジェクト会議において、課題を明らかにし、次年度の以下の事業計画を策定した。 ・関連実態調査 4月 ・保育ママ起業説明会の実施 ・保育士キャリア教育の実施 10月	保育士キャリア形成 PT
		(取組2) ・産官学連携による保育士支援プログラムの共同研究に取組む。	(取組2の活動指標) ・産官学連携による保育士支援プログラムの共同研究の成果を基に、市内の現役保育士の離職率を低減させることで、保育士が安定的に確保され、福島市との連携で待機児童ゼロを目指す。支援した現役保育士112人以上を目指す。	・9/27 プロジェクト会議において、課題を明らかにし、次年度の以下の事業計画を策定した。 ・保育士支援プログラム 燃え尽き症候群、困難性を伴う保護者対応、職場の対人関係への対応として、スーパービジョン体制の構築、保育士の仕事量軽減への取組。	
⑦その他、構成機関の連携と協力により、地域の課題と活性化に必要な取組み	⑦連携機関が所有する施設・設備等の共同利用の促進を目指す。	(取組1) ・教育・研究を目的として、福島市産官学連携プラットフォーム協定に締結している大学が所有する施設・設備を複数の大学が共同利用に取組む。	(取組1の活動指標) ・各大学が教育・研究を目的として、連携機関が所有する施設・設備の共同利用に関する覚書等の体制を整備する。	・次年度以降の取組とする。	高等教育機関 連携 PT
		(取組2) ・プラットフォーム協定に締結している各機関が所有する施設・設備を連携する各機関が共同で利用できるよう取組む。	(取組2の活動指標) ・連携協定に締結している各機関が所有する施設・設備の共同利用に関する覚書等の体制を整備する。	・次年度計画として、高校生対象の大学研究セミナー会場として福島市アオウゼの施設利用計画を策定した。	